

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科				
科目名称	技術者倫理				授業形態		講義		
科目コード	710006	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	岡崎 善三、長田 隆							ICT活用	
授業概要	本授業の目的は、技術者に求められる役割、社会的責任・法的責任・科学技術的視野・倫理観の視点からとらえた学びを通して、技術者として自覚や責任感を養う能力を身につけることを目指します。 技術者倫理では法令や科学技術発展の経緯についての理解が必要です。更に技術者倫理が企業・自治体・団体等のコミュニティの中で、健全な活動を行うことの重要性について理解するとともに、自らが将来所属するコミュニティにおいて倫理的行動が出来るようになること、特に、実例を基に、問題の本質を特定し、倫理的にどのような行動をとるべきであるかを、考えます。								
関連する科目	履修前に受講することが望ましい科目：「食品衛生法及び関係法令」								
授業の進め方と方法	自らが将来所属するコミュニティにおいて倫理的行動が出来るように、過去、倫理的に問題実例を挙げ、問題の本質を特定（特性要因図作成）し、倫理的にどのような行動をとるべきであるか（問題整理）をグループワークし、最後に発表しとめます。								
授業計画【第1回】	ガイダンス								
授業計画【第2回】	1. 文献読解①（技術者とは何か？）								
授業計画【第3回】	2. 文献読解①プレゼン								
授業計画【第4回】	3. 文献読解②（技術者のジレンマ）								
授業計画【第5回】	4. 文献読解②（プレゼン）								
授業計画【第6回】	5. 文献読解③（技術者倫理教育、その必要性、目的、方法、現状、課題）								
授業計画【第7回】	6. 文献読解③（プレゼン）								
授業計画【第8回】	7. 問題課題抽出方法（特性要因図の作り方）								
授業計画【第9回】	8. 過去の事故事例①からの要因解析法（特性要因図を作成し、要因解析）								
授業計画【第10回】	9. 過去の事故事例①からの要因解析法（プレゼン）								

授業計画 【第11回】	10. 過去の事故事例②からの要因解析法（特性要因図を作成し、要因解析）
授業計画 【第12回】	11. 過去の事故事例②からの要因解析法（プレゼン）
授業計画 【第13回】	12. 過去の事故事例③からの要因解析法（特性要因図を作成し、要因解析）
授業計画 【第14回】	13. 過去の事故事例③からの要因解析法（プレゼン）
授業計画 【第15回】	まとめ
授業の到達目標	技術者としての自覚や責任感を養う能力を身につけること。 技術者としてコミュニティの中で、健全な活動を行うことの重要性について理解し、倫理的行動が出来るようになること。 技術者として、技術者倫理に反する事例について善悪の判断が出来る能力を身につけること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	事前資料を提示または配布するので、目を通すこと（約1時間）
授業時間外学習【復習】	グループワークを行いまとめること。（約1時間）
課題に対する フィードバック	課題レポートの解説を解説します。
評価方法・基準	グループワーク事例①～③の課題をレポートとして提出し、その出来栄で評価する。
テキスト	パワーポイントを使用して授業を行う。資料は講義前に配布します。
参考書	なし
備考	